

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

**1 事務事業の基本情報** 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。

事務事業名	女性相談経費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決っていない	予算科目	区分	一般会計			款	2	項	1	目	8	事業	2
担当部	市民生活部	担当課	市民協働課	担当係	男女共同参画 係	作成者	篠塚 純子	内線(電話番号)	2140	シート作成日	H30.10.23	部長決裁日	H30.10.24					
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 第2次常総市男女共同参画計画 26年度~35年度)		根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称: 男女共同参画推進条例)															

**2 事務事業の目的** 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	女性が抱える様々な悩みは多様化しており、女性の人権、困りごと、暴力、育児、介護、健康、労働に関することなどあらゆる相談に対応している。相談内容としては、家庭の人間関係や心の相談が多くなっている。	誰・何を対象に どのような方法・手順で	市民又は市内に通勤・通学している女性。 女性臨床心理カウンセラー(茨城県境町在住)による面談または電話相談を事前予約し、毎月第3火曜日に4名まで相談できるよう開設している。	望ましい状態	女性が社会で活躍して行くうえでキャリアアップのサポートや、職場では話しにくいセクハラやパワハラなどの相談が増え、少しずつ男女共同参画社会が進み相談者が減っていくこと。
------	---	------------------------	---	--------	---

**3 事務事業の主たる成果指標** 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	相談件数	単位	人	目標値	36	目標年次	平成 30 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	相談日は、毎月1回4人が可能であるため、1年間36人が目標。
-----	------	----	---	-----	----	------	----------	-------------------------------------	--------------------------------

**4 事務事業の実績** 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量			
事務事業を構成する主な業務	① 女性相談業務	11回	① 女性相談業務	12回	① 女性相談業務	12回			
	② 女性相談カードを作成	1,500枚	② 女性相談カードを作成	2,000枚	② 女性相談カードを作成	3,000枚			
	③ 女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店等に設置	25か所	③ 女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店等に設置	28か所	③ 女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店等に設置	30か所			
	④ 女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集	随時	④ 女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集	随時	④ 女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集	随時			
	⑤		⑤		⑤				
	⑥		⑥		⑥				
	⑦		⑦		⑦				
	⑧		⑧		⑧				
	⑨		⑨		⑨				
	⑩		⑩		⑩				
	⑪		⑪		⑪				
	⑫		⑫		⑫				
目標値に対する実績値		37 人	目標値に対する実績値		36 人	目標値に対する実績値		42 人	
決算額	計	206,610 円	計	225,220 円	計	225,198 円			
	内訳	特定財源 円 一般財源 206,610 円	内訳	特定財源 円 一般財源 225,220 円	内訳	特定財源 円 一般財源 225,198 円			
		(住民一人あたりの行政コスト)	3 円			(住民一人あたりの行政コスト)	4 円		

**5 担当者評価** 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	ほぼ目標どおり	成果内容	毎月の相談予約は定員4人を満たすことが増え、専門的な知識を必要とする相談が多い。また、相談時間が一人50分と短いため、相談を再度希望する相談者も増えている。女性相談のチラシやカードの設置協力店の増加により周知が拡大され、相談者が増加傾向にある。
問題点			女性カウンセラーによる相談は月1回のため、相談日以外は職員が対応している。現在の女性だけの相談になっていることから、男性相談も必要かと思われる。また、女性が働き続ける中でのキャリアアップのサポートや、職場では話しにくいセクハラやパワハラなどの相談もできるよう検討し、さらには、相談窓口が色々あるので窓口を一本化し、市民がワンストップで相談できる体制づくりを検討する。

**6 担当部長及び担当課長評価** 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性  
 拡充  現行どおり  縮小  休止・廃止

評価理由  
 市で実施する各所相談業務のひとつであるが、他課において実施している相談業務と重複するところが多く、今後において相談窓口の一本化を図るなど、業務形態の見直しを検討すべきと考える。  
 ※ 男女共同における女性相談は、女性が社会において働きやすい環境づくりや女性の地位向上を目指すための相談であり、家庭内のDVや離婚・子育て・精神的な相談とは異なる。

**7 実施計画** 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業内容	●女性相談業務 (年12回) 18,360円×12カ月 ●女性相談カードを作成 ●女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店等に設置 ●女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集		●女性相談業務 (年12回) 18,360円(税込)×6カ月+18,700(税込)×6カ月 ●女性相談カードを作成 ●女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店等に設置 ●女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集 ●職員におけるセクハラ、パワハラ等アンケート調査の実施		●女性相談業務 (年12回) ●女性相談カードを作成 ●女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店等に設置 ●女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集 ●企業向けのセクハラ、パワハラ等のアンケート調査の検討を実施	
	計	226 千円	計	228 千円	計	245 千円
	歳入	特定財源 千円 一般財源 226 千円	歳入	特定財源 千円 一般財源 228 千円	歳入	特定財源 千円 一般財源 245 千円
	計	226 千円	計	228 千円	計	245 千円
予算額	計		計		計	
	226 千円		228 千円		245 千円	
	歳入		歳入		歳入	
	226 千円		228 千円		245 千円	
計		計		計		
226 千円		228 千円		245 千円		

**8 財務アドバイザーの見解**

『常総市財政健全化計画』では、平成29~31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

**9 行政改革懇談会(市民)の意見**

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。労働力確保のためにも、女性の働きやすい環境づくりは当然であると考えます。また、職場でのセクハラ、パワハラ等について、男性職員に対してアンケート調査を実施してはいかがでしょうか。

**10 最終評価(行政改革推進本部)** 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事務事業の方向性  
 拡充  現行どおり  縮小  休止・廃止

評価理由  
 DV被害解消やハラスメント被害解消等女性が抱える様々な問題に積極的に取り組み、女性に対して積極的に係っていく。また、他の相談業務を担う部署との連携強化を推進していく。

**11 事務事業の改善理由** 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容  
 女性が抱える問題については、その内容が年々多様化しているが、女性が社会で活躍して行く上での相談を増やすため、まず職員のセクハラ、パワハラ等のアンケート調査を実施し、現状を把握する。そして、女性相談についての相談業務を担う課と話し合い、業務形態の見直しなど検討することで、市民へのサービスを充実させる。さらに、女性相談を広めるためには相談しやすい内容のチラシやカードの作成や新規設置店を増やしていく。